学校番号	2002

令和８年度　情報科

教科	専 情報	科目	情報デザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報デザイン　Information Design　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報デザインを学ぶことで、1 年生の時に学んだ情報Ⅰにおける「相手に情報を伝える技術」をより深く養うことを目指します。「ただ何となく」や「この色が好きだから」などではなく、科学的・論理的にデザインを意識する力の向上を目指します。

～授業に関して～
・授業で扱うプリント類は、特別な指示がない限りすべてファイル（1 年次に「情報Ⅰ」で使用したファイルでよい）に綴じてもらいます。
・プリントは授業の説明を聞きながら穴埋め等をするだけでなく、大事そうなところのメモをとるように心がけましょう。
・実習には積極的に取り組み、力を発揮してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報デザインに関する基礎的な知識と技術を習得する
【思考力、判断力、表現力等】
情報デザインの技術や活用方法に関する課題を見つけ出し、創造力をもって解決する力を養い、作品制作における情報の表現力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】
情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、創意工夫する能力を身に付けさせる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報デザインに関する科学的・論理的な知識と技術を身に付け、情報社会と人との関わりを理解し、情報メディアと情報デザインの関係性などの知識を習得している。	事象と情報とをその結びつきの視点から捉え、情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報デザインに関する科学的・論理的な見方や考え方を活かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報デザインによる情報の伝達に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デザインって何だろう	デザインの社会における位置付けなど、デザインに関しての考え方を学ぶ	a:デザインの意味合いやプロセスについて理解している b:身近なもののデザインや解決すべき問題点を見つけられる c:積極的に自分の意見などをまとめられている	プリント	プリント 意見	プリント 授業観察
	何をデザインするのか	情報デザインの歴史や役割を学ぶ	a:情報デザインの歴史や役割について理解している b:「仕掛学」などのデザインの工夫をまとめられる c:積極的に授業内容をまとめている	プリント	プリント	プリント 授業観察
		情報デザインによるコミュニケーションの一例として、オリジナルのピクトグラムを作成する	a:ピクトグラムの歴史や意味合いを理解し、PowerPoint などのソフトを使用して表現できる b:どのように表現すれば相手に伝わるかを考えることができる c:身の回りにあるピクトグラムによる表現に興味を持ち、自らの作品に積極的に取り組もうとしている	プリント 課題作成	プリント 課題作成	プリント 課題作成 授業観察
	デザインの造形要素	デザインの形態を学び、身近なものを意識する。また、点・線・面などによる表現を科学的に学ぶ	a:形態の種類や、基本形態とその働きについて理解している b:点・線・面での働きを考え、表現できる c:自らの作品に積極的に取り組んでいる	プリント 課題作成	プリント 課題作成	プリント 課題作成 授業観察
		色彩・配色や基本図形による表現を科学的に学び、心理的な影響等を理解した上でポスターなどの作品に応用する	a:色彩や配色に関しての科学的理解をし、色相環を作成できる b:身のまわりの色彩・配色の持つ意味を考えられる。また、ポスター等に応用して表現できる c:積極的に授業内容をまとめている	プリント 課題	プリント 課題	プリント 授業観察

		形を構成する要素のまとまり方から受ける心理的影響や錯視を学ぶ	a:プレグナンツの法則などの形態と心理の関係性や錯視、フィボナッチ数列・黄金比といった隠された数理的造形について理解している c:積極的に授業内容をまとめ、身近なものへの関係性を探ろうとしている	プリント		プリント 授業観察
2学期	観察と表現	身のまわりの観察からデザインのヒントを得られることを学ぶ	a:自然物や人工物の観察や、時間の経過や視点の変更がデザインに繋がることを理解する c:積極的に授業内容をまとめている	プリント 課題作成		プリント 授業観察
		造形の基本を学び、移動や回転・反転などを使ったデザインを作成する	a:移動や回転・反転といった造形の基本を理解し、その心理的影響も理解している b:移動や回転・反転といった造形の基本と心理的影響を考え、表現できる c:自らの作品に積極的に取り組んでいる	プリント 課題作成	プリント 課題作成	プリント 課題作成 授業観察
	造形要素の構成	ロゴなどの省略化されたデザインを学び、作成する	a:オリジナルのロゴをソフトウェアを使用して作成できる b:家紋などを調べたうえで、オリジナルのロゴをデザインできる c:自らの作品に積極的に取り組み、自己評価ができる	プリント 課題作成	プリント 課題作成	プリント 課題作成 授業観察
		デザインにおけるコミュニケーションの演出を学び、名刺を作成する	a:主に文字情報を利用したコミュニケーションアイテムの一つとしての名刺を、ソフトウェアを使用して作成できる b:どのように表現すれば相手に伝わるかを考えることができる c:自らの作品に積極的に取り組もうとしている	プリント 課題作成	プリント 課題作成	プリント 課題作成 授業観察

	デザインの検討・デザインの活用	HTMLによる表現	a:ＨＴＭＬの基本タグを理解している b:ＨＴＭＬの使用方法を工夫し、より幅広い表現ができる c: 最終課題の Web サイト制作に向けて、HTML を用いた練習課題に積極的に取り組もうとしている	プリント 課題作成	課題作成	プリント 課題作成 授業観察
3学期	デザインの検討・デザインの活用	グリッドを意識した Web サイトデザインの検討・作成	a:今まで学んだ表現方法を踏まえた上で、より伝わりやすい Web ページを構成できる b:情報を収集・精査・抜粋し、HTML を用いて印象に残る表現ができる c: Web サイト制作に向けて積極的に取り組もうとしている	プリント 課題作成	プリント 課題作成	プリント 課題作成 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度